

20:1 あなたが敵と戦うために出て行くとき、馬や戦車や、あなたよりも多い軍勢を見ても、彼らを恐れてはならない。あなたをエジプトの地から導き上られたあなたの神、主が、あなたとともにおられる。

20:2 あなたがたが戦いに臨む場合は、祭司は進み出て民に告げ、

20:3 彼らに言いなさい。「聞け。イスラエルよ。あなたがたは、きょう、敵と戦おうとしている。弱気になってはならない。恐れてはならない。うろたえてはならない。彼らのことでおじけてはならない。

20:4 共に行って、あなたがたのために、あなたがたの敵と戦い、勝利を得させてくださるのは、あなたがたの神、主である。」

20:5 つかさたちは、民に告げて言いなさい。「新しい家を建てて、まだそれを奉獻しなかった者はいないか。その者は家へ帰らなければならぬ。彼が戦死して、ほかの者がそれを奉獻するといけなから。

20:6 ぶどう畑を作って、そこからまだ収穫していない者はいないか。その者は家へ帰らなければならぬ。彼が戦死して、ほかの者が収穫するといけなから。

20:7 女と婚約して、まだその女と結婚していない者はいないか。その者は家へ帰らなければならぬ。彼が戦死して、ほかの者が彼女と結婚するといけなから。」

20:8 つかさたちは、さらに民に告げて言わなければならぬ。「恐れて弱気になっている者はいないか。その者は家に帰れ。戦友たちの心が、彼の心のようにくじけるといけなから。」

20:9 つかさたちが民に告げ終わったら、將軍たちが民の指揮をとりなさい。

戦いのための規定です。この世にあって、私たちも勝敗を決しなくてはならないことがありますから、ここから学ぶことができます。ただし、ここにある旧約の戦いは偶像・邪教との戦いでもありますから、現代の競争と全く一緒にすることはできません。その本質を見極めて学ぶ必要があります。

「あなたよりも多い軍勢を見ても、彼らを恐れてはならない。」とあります。主のための戦いであるなら主が戦ってくださるから、心配はないのです。ただし、そのような信仰を持つことは簡単ではないかもしれません。その確信はどこから来るのでしょうか。それは礼拝からです。主との仲立ちとなってくれる祭司のことばが、確信となるのです。すなわち、聖書のことばです。

また、さまざまな事情で戦いに専念できない人への配慮が書かれています。戦いのときには士気が劣る者がいると、全体に影響するからです。私たちも自分自身がまだ恐れを持っていないか、弱気になっていないか考えてみる必要があります。であるなら、まだ主のときではないのかもかもしれません。よく祈りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

